

# 5月 5月園だより

2021年5月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園  
園長

## “わが家の小さな文化”をつくりませんか

東京都公立保育園研究会のいきいき子育て通信  
「はぐくみ」 96号より

汐見 稔 幸

青々とした若葉の中を心地よい風が吹き抜ける爽やかな季節となりました。入園、進級して1か月、子どもたちも少しずつ園に慣れ、生活のリズムをつかんで毎日生活できるようになり、新しいクラスでもお友だち、そして先生にも慣れ、楽しそうな声や笑い声が聞こえるようになってきました。

保育者や友だちとの関わりが楽しくなってきたこの時期、一人一人の興味を大切に、好きなあそびを十分に楽しめるよう環境を整えていきます。心が躍動するよびのびとあそび、子どもの表現や気づきに保育者も共感していきたいと思います。ゴールデンウィークご家族で楽しい時間を過ごされたかと思います。子ども達の話に耳を傾けながら、5月も楽しく過ごしていきたいと思います。



### ☆5月の予定☆

- 6日(木) 避難訓練
- 7日(金) 幼児身体計測
- 8日(土) 保護者会(ZOOM)
- 10日(月) 乳児身体計測
- 12日(水) 歯科健診
- 13日(木) 0歳児健診
- 14日(金) 4歳春の遠足
- 21日(金) 5歳春の遠足
- 27日(木) 0歳児健診

※10日・17日・24日の各月曜日、英語であそぼう

### ☆6月の主な予定☆

- 1日(火) 避難訓練
- 2日(水) 幼児身体計測
- 3日(木) 乳児身体計測
- 8日(火) 危機管理訓練
- 10日(木) 夏前健診(幼児)・0歳児健診
- 24日(木) 夏前健診(乳児)・0歳児健診

※7日・14日・21日の各月曜日、英語であそぼう  
(幼児)

### ☆お知らせ・お願い☆

○登降園の際は保護者様のマスクの着用、手指消毒を、お子さまは登園後すぐに手洗いをお願いいたします。また、園内での滞在時間の短縮にご協力いただき、密を避けお迎え後は速やかに降園をお願いいたします。

○ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。

○子どもや職員にコロナ感染者が出た場合は、一部休園又は休園になることをご承知おきください。

○来園する業者さん、保育参加される保護者さん等、お子さんの送り迎え以外に園内に一定時間滞在される方には「新型コロナウイルス問診票」の記入をお願いしております。

- 
- 
- 
- 

最近、子育て支援が、保護者自身の悩みの相談や子育てのノウハウの紹介に偏ってきているような気がするのは私だけでしょうか。以前は、もう少し家庭のつくり方自体がテーマとして多かったように思います。

それぞれに違った文化の中で育ってきた者同士が、ある時から共同生活を始める家庭という場を育み、子どもを授かるとこれまで体験したことがない育児という営みをしなければならなくなる。そこに戸惑いが多くなり、食い違いが発生する。

だからこそ、自分が生まれ育った家庭の文化とも異なり、連れ合いの育った家庭の文化とも異なる、自分たちで相談しながらつくる家庭文化の創造こそが新たな家庭の最も大事なテーマになるのではないかと思います。

文化といっても大それたことを言っているわけではありません。

食事の時間をどういうひとときにするのか。たとえば、

- ① みそ汁と焼き魚で育ってきた妻と、パンとコーヒーで育ってきた夫は、共同生活ではどういう朝ごはんにするのか？日替わりか、それとも新たな・・・。
- ② 誰が食事をつくるのか。毎日時間がある方がするのか、二人がいる日は一緒につくるのか、曜日を決めて担当するのか、いつも妻がつくるのか・・・。
- ③ 食事の時間はどのようなことを大事にするのか。その日にあったことを語り合って笑いあう楽しい時間にするのか、静かに食べて早く済ませるのか・・・。
- ④ 妻が遅くなる日、あるいは夫が遅くなる日の食事はどうするのか。待っているのか、先に食べるのか・・・。

⑤ 子どもが食事作りに参加するのはいつからにするのか。3～4歳から手伝い上手になってもらうのか、子どもが食事作りに参加すると時間がかかるから遠ざけるのか・・・。

もっともっとテーマはあるでしょう。それらをどうつくっていくかによって、それぞれの“家庭の文化”というべきものがつくられていくのです。

それ以外に、家庭にはみんなの絆を強めあうという大事な機能がありますので、そのために何をするのか。たとえば、月に1回は周辺の山のトレッキングを家族全員で、プランター農業を始める、季節ごとに家族でアイデア会議を開いて部屋のインテリアを変える、家族で本を読む時間を週に1回は設ける・・・。

新型コロナウイルス禍に見舞われている今は、家族が家庭で協働する時間がかかなり増えています。こういう時こそチャンスだと思っています。わが家の文化をどうつくるのか、みんなでワイワイ議論しながら始めるべきだと思っています。まずは家族で楽器演奏を試みるなど、何かをみんなで始めてみませんか。

汐見稔幸/しおみ・としゆき  
東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長

